

認知症サポーター養成講座カリキュラム及び時間配分について

①基本カリキュラムに則った内容での構成

○基本カリキュラムを踏まえ、特に「認知症を理解する 1」は、どのような受講者の場合も割愛することなく十分に時間をとり、標準教材に沿って講義を行ってください。

○その上で、対象者に応じて工夫を加えた構成とします。

※「認知症の人への対応の仕方」については、ロールプレイング、寸劇等の手法を取り入れて、対象者に応じてより身近な題材を用いて伝えることも考えられます。

②講座時間の基本は90分です

認知症を正しく理解した上で、日常生活や各種活動、または業務等を通して認知症の人と接する上での心得を学ぶためには、90分程度は必要となります。

※新型コロナウイルス感染拡大防止を理由として、時間を短縮して講座を開催することはできません。

◇「認知症サポーター養成講座基準」

「○講座の所要時間 おおよそ1時間～1時間30分を目安とする。

基本内容をおさえたいうえで、対象者に合わせて適宜、構成・調整する。」

の記載の解釈は、下記の通りとなります。

★成人が対象となる場合は、高齢者のみのグループである等受講対象者が90分の講座を受けることが難しいやむを得ない場合に限り、60分以上で構成してください。

※「業務の都合」「時間をとれない」等の理由により、講座時間を短縮することがないようをお願いいたします。

★小中学校の授業で実施する場合は、授業の1コマ（45分または50分）で行うことができます。

※この際も「認知症の基礎知識」（「認知症サポーター小学生養成講座副読本」「認知症サポーター中学生養成講座副読本」に沿った講義）に十分に時間をとってください。